

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年5月29日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年5月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【陸側遮水壁設備の計測器盤温度計の不具合について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、陸側遮水壁設備の計測器盤のクーラ異常を示す警報発生を確認。 現場確認の結果、当該盤内の温度表示が「高」を示しているが、クーラは運転状態で盤内の温度は上昇していないことから、温度計の不具合と判断。 なお、盤内の冷却は維持できていることから、陸側遮水壁設備の系統運転への影響はない。 今後、温度計はクーラに内臓されているため、クーラー式の交換を予定。</p>	G III	5月25日
2	<p>【5号機残留熱除去系(A)運転時に系統流量が定格とならない件について】 当社運転員が、海水系全停作業に伴い、5号機使用済燃料プールの冷却を残留熱除去系(A)非常時熱負荷モード運転にした際、流量調整弁を全開にしても系統流量が定格流量に達しないことを確認。 その後、残留熱除去系(A)から残留熱除去系(B)の非常時熱負荷モード運転に切替え、使用済燃料プールの冷却を開始したことから、使用済燃料冷却への影響はない。 今後、不具合箇所を特定し、修理方法を検討する。</p>	G III	5月25日
3	<p>【4号機燃料取り出し用カバー天井クレーンの使用休止について】 協力企業作業員が、クレーンの法令点検において4号機燃料取り出し用カバーの天井クレーン走行レールの勾配を計測したところ、一部に許容値超えを確認。 法令点検期限まで勾配を許容値内に修正ができないことから、クレーンの休止手続きを行う。 なお、天井クレーンは点検中であり、荷は吊っていないため、作業安全の問題はない。 今後、当該走行レールの修正可否を検討。</p>	G III	5月24日